

# ハビリス

ハビリスの名は、リハビリテーションの語源である、ラテン語の、re(再び)+habilis(適した、ふさわしい)+ation(状態にする)から採ったものです。

宮崎県身体障害者相談センター  
(高次脳機能障がい総合相談支援拠点機関)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

TEL : (0985) 29-2556 (代)

FAX : (0985) 31-3553

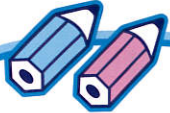
<http://www.shinsyocenter-miyazaki.com>

宮崎県身体障害者相談センター通信ハビリス(第5号)をお届けします。

身体障害者相談センターでは、身体障がい者の方々の自立支援医療(更正医療)や補装具をはじめとした各種の判定や相談に対応するため、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、また、高次脳機能障がいに対応する支援コーディネーターなどを配置し、身体障がい者の方々が市町村の総合的な支援を行っております。

今回のセラピストだよりでは、それぞれの仕事の中でよく耳にする専門用語について分かりやすく説明します。

身体障がいや高次脳機能障がいについて、お困りのことや疑問などがございましたらお気軽にご相談ください。



## 目次

### ○セラピストだより

- ・看護師
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・臨床心理士

### ○高次脳機能障がい

- ・支援協力病院の決定について

## セラピストだより

### 看護師

身体障害者相談センターにおいて看護師は、自立支援法に基づく補聴器の判定や補聴器のフィッティング、子どもの聴こえと言葉の検査や、相談などに携わっています。今回は補聴器の種類について説明します。

○ポケット型補聴器：箱形の本体をポケットなどに入れて、コード付きのイヤホンで聴くタイプです。本体が大きいので手元で操作がしやすく、またマイクとスピーカーが離れているのでハウリング(ピーピー音)しにくいです。

○耳掛け型補聴器：耳介の後ろに掛けて使用する小型のもので、コードがないので邪魔になりませんが、耳栓が外れると落ちてしまうのでピッタリ合った耳栓が必要です。

○耳あな型補聴器：本体ごと耳あなに入れて使う小型のものです。電話で会話するときは聴きやすいですが、マイクロホンとスピーカーが近くにあるため、音量を上げたり、耳あなにピッタリ合わないとハウリングが起こりやすいです。



耳掛け型補聴器



## 理学療法士

理学療法で使用する専門用語はリハビリテーションの普及に伴い毎日のように新聞などにも記載されるようになり、皆さんも日常的に目にしたり、耳にされるようになってきていると思います。

理学療法士 (Physical Therapist) は、身体の動きに関する評価を主に行います。理学療法士がよく使用する評価や言葉について説明します。

### ○関節可動域検査 (Range Of Motion ROM-T)

関節の動きが悪い時などに理学療法士 (以下PTと略) 等が評価の1つとして用いる検査方法です。

PTはROMテストと呼んでいます。



理学療法士による評価風景

### ○徒手筋力検査 (Manual Muscle Test MMT)

筋力を評価する時に用いる手技です。筋力は0~5の6段階の指標に分かれており、0が筋肉の動きが全くないもの、3が関節を自由に動かす筋力があるもの、5が正常です。

### ○動作分析

PTが最も得意とする評価で寝ている状態から、歩行までを細かく分析し、筋肉に問題があるのか、神経に問題があるのか、骨に問題があるかなどを各評価なども参考にしながら患者のゴール等を設定していく重要な作業です。歩行に関する評価は歩行分析と呼んでいます。

## 作業療法士

作業療法士は、Occupational Therapistを略して、「OT」といいます。Occupationとは、仕事、趣味のことを意味します。作業療法では、食事や遊び、スポーツなど日常生活の中に登場する行動を「作業」として応用します。作業療法の中でよく使われる用語を紹介します。

○ADL：日常生活動作 (Activities of Daily Living) の略で、食事、排泄、着替え、入浴、移動など、日常の生活を送るために必要な基本動作のことです。

○IADL：手段的日常生活動作 (Instrumental Activity of Daily Living) の略で、ADLを基本にした日常生活上の複雑な動作のことです。買い物や洗濯、電話、薬の管理、金銭管理、乗り物、趣味活動などがあります。

○自助具：身体に障がいのある人が、日常生活で困難な動作を、自分でできるように工夫された道具のことをいいます。例えば、握力の弱い人は、スプーンのグリップ部分を太くすることで、しっかり握ることができます。自助具の販売もありますが、施設や病院等では、作業療法士が製作することもあります。





## 言語聴覚士

言語聴覚士とは、音声・言語・聴覚に障害のある方の訓練や検査、助言を行う職業です。STと呼ばれることもあります。これは Speech Therapist の略です。最近は映画やドラマ、本などで広く紹介されるようになり知名度が少しずつあがってきました。言語聴覚士の業務の中からよく耳にする専門用語を紹介します。

### ○失語症 (Aphasia)

脳の言語領域の病変により、後天的に言語障害が現れたものです。脳のどこに障害を受けたかで、症状が異なります。右利きの人は右半身がマヒした場合、失語症になることが多いようです。



失語症評価 (カテゴリー検査)

### ○構音障害 (Dysarthria)

いろいろな原因で発音が歪んだり、不明瞭な状態になることです。口蓋裂や聴覚障害によるもの、音の習得の誤りが原因のもの、疾病による運動機能障害性構音障害などがあります。

### ○発達障害

脳の働きの障害で、自閉症、アスペルガー症候群、ADHD (注意欠陥/多動性障害)、LD (学習障害) などがあります。行動や認知の障害の総称です。

## 臨床心理士

臨床心理士 (CP: Clinical Psychologist) は、近年増加している、「こころ」の問題について、その解決を図るために、心理学の知識や技法を用いて援助を行う「こころの専門家」です。

今回は、テレビなどでもよく耳にする「IQ」についてのお話です。

IQ (Intelligence Quotient: 知能指数) とは、知能検査の結果を表す数値のことで、療育手帳取得、就学時健康診断、学習指導などによく利用されます。

$$IQ = \frac{\text{精神年齢 (知能検査によって測定された精神年齢)} \times 100}{\text{生活年齢 (実際の年齢)}}$$

上記の表の検査で算出されますが、同じ人でも、別の知能検査で測ると異なるIQが出たり、同じ知能検査でも2回目以降はIQが高くなったり、体調によっても結果は変わる等々あります。IQだけで私たちの日常生活の全てを測ることはできない (その人の性格や態度なども含めた全体の力が大切) ということに気をつけなければなりません。



田中ビネー知能検査 V



## 高次脳機能障がい

# 支援協力病院が 決定しました



このたび、高次脳機能障がい者の支援体制の充実を図るため県内の医療機関に支援協力を呼びかけました。その結果、県内各地域から14の病院に参加いただくことになりました。

支援協力病院は、支援拠点機関（宮崎大学医学部、宮崎県身体障害者相談センター）と連携・協力して高次脳機能障がい者の相談支援やサービスの提供などを行っていただきます。

2月18日（月）に宮崎県高次脳機能障がい支援連絡会議（主催：宮崎県障害福祉課）が開催され、支援協力病院も参加いただき、現状や今後の課題等について協議を行いました。

### 〈高次脳機能障がい支援協力病院〉

圏域	市町村	病院名
宮崎東諸県	宮崎市	医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科
	宮崎市	社会保険宮崎江南病院
	宮崎市	社会医療法人同心会 古賀総合病院
	宮崎市	潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院
	宮崎市	一般財団法人弘潤会 野崎病院
	国富町	医療法人慶明会 けいめい記念病院
日南串間	日南市	医療法人文誠会 百瀬病院
都城北諸県	都城市	社団法人八日会 藤元早鈴病院
小林西諸県	小林市	特定医療法人友愛会 園田病院
西都児湯	西都市	医療法人隆徳会 鶴田病院
	高鍋町	医療法人宏仁会 海老原総合病院
日向入郷	日向市	医療法人誠和会 和田病院
	門川町	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 宮崎県済生会日向病院
県北部	延岡市	医療法人建悠会 吉田病院